



本県の汚水処理施設は、県構想のもと計画的に整備が進められて普及してきており、公衆衛生の向上、生活環境の改善、河川等の公共用水域の水質改善に大きく寄与してきました。

これからの汚水処理施設のあり方については、これらの効果・役割を基本としつつ、下水道などが有する多様な機能をとおして、循環型社会への転換を図ること、美しく良好な環境を形成すること、安全で快適な暮らしと活力のある社会の実現に寄与することなどが期待されています。

この章では、汚水処理施設整備の基本理念並びに新たな県構想の全体構成について説明しています。

※汚水処理施設の役割については、資料編：資料11を参照。

2.1 基本理念

本構想は次の6項目を基本理念として策定しました。

水環境の保全、未来に引き継がれる豊かな自然

快適で豊かに暮らせる生活環境の早期実現

資源・再生可能エネルギーの有効利用

持続可能な汚水処理の運営

浸水不安のない街

汚水処理に関する普及啓発

(1) 水環境の保全、未来に引き継がれる豊かな自然

岩手県は豊かな自然に恵まれ、清らかな水と美しい水辺環境を有しています。この豊かな環境を守り継ぐことが必要です。

(2) 快適で豊かに暮らせる生活環境の早期実現

汚水処理施設は、トイレの水洗化により居住空間を快適にし、生活雑排水等の処理により生活環境を改善します。その恩恵は県民のすべてが共有すべきものであり、汚水処理施設整備の早期実現を目指すことが必要です。

(3) 資源・再生可能エネルギーの有効利用

下水道は、汚泥や下水熱など豊富なバイオマスや熱エネルギーを有しています。再生可能エネルギーの導入促進は、県が策定した「ふるさと振興戦略」でも掲げており、下水道が有している資源・再生可能エネルギーの有効利用を図ることが必要です。

(4) 持続可能な汚水処理の運営

汚水処理施設が 20 ～ 30 年後も持続可能なものとするために、汚水処理施設管理者は「経営の視点」を持って運営することが必要です。また、整備した汚水処理施設を適正に維持管理し、災害に備えることが必要です。

(5) 浸水不安のない街

下水道の重要な役割には、浸水被害を軽減することも挙げられます。近年、短時間に強い雨が局所的に降るゲリラ的な大雨が増え、浸水被害が頻発しています。これらの大雨による浸水被害をできるだけ低減することで、浸水不安のない街を目指すことが必要です。

(6) 汚水処理に関する普及啓発

岩手県では、これまでに、下水道の日（9月10日）にちなんだイベントの開催、施設見学会の実施、下水道・浄化槽出前講座などを行ってきました。これらの活動に加え、下水道の接続率向上や浄化槽の普及促進を図るためにも、下水道・浄化槽への理解をさらに深めることが必要です。

2.2 新たな県構想の全体構成

【5つの項目】

- (1) 汚水処理施設の整備
- (2) 資源エネルギーの利活用
- (3) 汚水処理施設の運営
- (4) 雨水対策
- (5) 広報活動・普及啓発

【各項目の検討手順】

- ◆これまでの取り組み
- ◆社会経済情勢等の変化
- ◆今後の課題
- ◆新たな方針
- ◆新たな計画・目標

図 2-1 県構想の全体構成

新たな県構想では、基本理念のもと次の5つの項目について検討しています。

- ・ 汚水処理施設の整備
- ・ 資源エネルギーの利活用
- ・ 汚水処理施設の運営
- ・ 雨水対策
- ・ 広報活動・普及啓発

各項目の検討手順については、まず、これまでの取り組み状況や社会経済情勢等の変化を整理し、そこから浮かび上がる今後の課題を抽出しました。

そして、その課題を解決すべく、新たな方針及び新たな計画・目標値を設定することとしました。